

いそファミ通信

2月号



寒さも厳しくなり、インフルエンザが本格的に流行しはじめました。
一宮市内のインフルエンザ速報をお伝えします。

★インフルエンザ速報★ (一宮市感染情報、定点18ヶ所：H21年2/2～2/8)

地区	A型(人)	B型(人)	地区	A型(人)	B型(人)
北方・浅井	30	1	市街駅西	39	1
奥・今伊勢	59	2	市街駅東	78	0
萩原・大和	55	0	尾西	45	1
西成・千秋北	12	0	木曾川	13	0
丹陽・千秋南	51	0	合計(2/2～2/8)		387

インフルエンザの予防には、基本的なことですが手洗い、うがいをこまめに行うことが大事です。また、ウイルスは湿度が高いのを嫌います。湿度が40%を超えるとウイルスが生存しにくくなり、湿度60%では80%のウイルスが死滅すると言われています。従って室内を湿度60%以上にするのが望ましいでしょう。

2009年度はタミフル耐性ウイルスの流行が確認されています。抗ウイルス薬にはタミフル以外にもリレンザという吸入薬もあり、5歳以上で使用可能となっています。医師とよく相談して決めるとよいでしょう。

Hib(ヒブ)ワクチンについて

日本で2008年12月から接種可能になりました。当院でも予約制にてヒブワクチンの接種を開始しております。

ヒブとは・・・

ヒブは、ヘモフィルスインフルエンザ菌b型という細菌です。インフルエンザウイルスと似た名前ですが、全く違うものです。多くの場合は、生後3ヶ月から5歳までの子供たちがかかります。特に2歳未満のお子さんに多く、鼻咽腔に保菌され、これが病原菌となり肺炎、喉頭蓋炎、敗血症などの重篤な疾患をひきおこします。なかでもヒブ髄膜炎は最も頻度が高く、予後の悪い病気です。

ヒブワクチンの安全性について・・・

主な副反応は接種部位の腫れや赤みで、そのほかに発熱が数%報告されています。これらは通常一時的なもので、数日以内に消失します。また、製造工程にウシ由来の成分が使用されていますが、海外で使用開始されてから、ワクチンが原因で伝達性海綿状脳症にかかったという報告はありません。

ヒブワクチンの接種スケジュール

- 接種開始年齢が2ヶ月以上7ヶ月未満
初回免疫を4～8週間の間隔で3回
追加免疫を初回免疫後おおむね1年後に1回接種
- 接種開始年齢が7ヶ月以上12ヶ月未満
初回免疫を4～8週間の間隔で2回
追加免疫を初回免疫後おおむね1年後に1回接種
- 接種開始年齢が1歳以上5歳未満
通常1回接種

※ヒブワクチンは不活化ワクチンです。次に違う種類のワクチンを接種する場合は、7日間、間隔をあけてください。

※ヒブワクチンは任意接種です。1回の接種料金を7500円とさせていただきます。

※現在、ヒブワクチンの供給量が不足気味のため、ご予約を頂いてから接種まで1ヶ月ほどお時間がかかります。ご予約についてはスタッフにお尋ねください。